

例えばこんな活動計画

ねらいやオモイ

- 森歩きは初めての子どもがいるので、まずは森に親しみをもってほしい！
- 4年生理科の学習内容とも関連付けて、年間を通して森で活動する中で、森の様々な変化に気付かせたい！

半日コース (春)	
9:00	到着、準備
9:30	めだまっち
10:15	鑑賞、振り返り
10:30	森の写真家
11:15	鑑賞、振り返り
11:30	出発

樹木を使ったオリジナルのキャラクター作り。いろいろなめだまっちを見比べて、樹木に親しみながら友だちとの交流も深めましょう！

自作のフレームを使って春の森の様子を記録しましょう。年間の記録を積み重ねると季節ごとの変化に気がきます。

ねらいやオモイ

- 生き物に興味のある子どもが多いので、森探検をしながら生き物探しに取り組ませたい！
- 森探検で見つけた宝物でオリジナルの作品を作り、学習参観日に展示したい！

一日コース (夏)	
10:00	到着、準備
10:15	森探検
11:45	片付け、着替え
12:00	昼食
13:00	葉っぱアート
14:30	出発

夏の森は生き物でいっぱい。植物、動物など見つけたものを観察して記録しましょう。面白い葉や枝、実を見つけたら採取しておきましょう。

一休みしたら、森で見つけた宝物を色画用紙の上に並べ、葉っぱアートに挑戦！完成した作品は持ち帰ります。

国立妙高青少年自然の家 森林環境学習「みどりの学習」

活動事例

「みどりの学習」とは？

国立妙高青少年自然の家ではSDGsの目標達成と持続可能な社会の実現を目指し、本事業をESD（持続可能な開発のための教育）と位置づけ、年間を通じた森林環境学習「みどりの学習」を行っています。

「みどりの学習」の目的

子供たちが五感を働かせながら「ホンモノ」の自然と関わり、自然の面白さや不思議さに気付いたり、興味関心を高めたりする体験活動をつくり、主体的、対話的で深い学びの実現を目指します。

このリーフレットでは「みどりの学習」の活動事例を紹介します



年間計画 作成例

季節	月	活動内容	森探検 (春)・森の写真家
春	4月	春の草花で遊ぼう！	まだ雪が残る妙高で、春の妖精に会いに行こう！
	5月	草花遊び	源流探検・森の写真家
	6月	手入れをしない里山は元気がない。みんなで森を整備しよう！	森探検 (夏)・森の写真家
夏	7月	下草刈り体験	夏探検 (秋)・森の写真家
	8月	里山の先生から樹木の種類や特徴を教えてください。	森探検 (冬)・森の写真家
	9月	樹木博士	
秋	10月	秘密基地づくり&薪炊事	
	11月	下草刈りで集めた柴は大事な資源。秘密基地づくり&野外炊事とあわせて楽しもう！	
	12月	冬の里山を探検しよう。見つけた枝や葉っぱで記念品を作ろう。	
冬	1月	スノーシューハイク	
	2月		
	3月		

森林と人との関わりを探る。身近な里山を舞台に、里山の恵みの活用や森林環境の保全について学ぶ。

4年生理科の学習内容と関連させ、同じ活動場所でも年間を通して植物や動物の観察に取り組む。

自然の家周辺の森林を活動のフィールドとし、様々な植物や動物と出会い、観察します。時期を変えて活動することで、季節ごとの森の生き物の様子や環境の違いについて学習します。

施設周辺には火砕流堆積物と妙高山から染み出した伏流水が作り出した沢があります。上流に向かって沢を探検し、川の始まりや森林と水の関わり、水辺の生き物などについて調べます。

森の活動

里山体験活動

自然の家周辺の「里山」を歩き、里山を活用する活動に取り組む中で、里山と人々の生活との関わりや環境保全の大切さ、里山を守る活動について考えます。

源流探検

森のクラフト

森林では形も色も様々な木の枝や葉っぱ、木の実などたくさんの自然物と出会います。自然の素材を使い自由な発想で工作することで、生き物の多様性に触れながら一人一人の創意工夫を活かします。

小学校学習指導要領との関連

生活科	身近な自然を利用した遊び	理科 5年	B-(1)「植物の発芽・成長・結実」
理科 3年	B-(1)「身の回りの生物」		B-(3)「流れる水の動きと土地の変化」
理科 4年	B-(2)「季節と生物」	理科 6年	B-(3)「生物と環境」
			B-(4)「土地のつくりと変化」



「みどりの学習」をはじめとする活動プログラムの様子をご覧いただけます。

活動プログラム紹介

「みどりの学習」の活動プログラムから一部をご紹介します。
 また、年間計画を作成するときの参考として、各プログラムがどのような教科及び内容に関連するかについての例も示しました。
 目的に合わせて活動プログラムを組み合わせることで、オリジナルの活動計画をつくりあげることができます。
 事前打合せや実地踏査を行うことで、団体独自で活動することができます。また、活動によっては外部講師の依頼もできます。

森の活動

生き物の生態と周囲の環境を関連付けて考える。
 繰り返し森とかかわることを通して、生命を尊重する態度を養う。

森探険

【年間】

活動時間：1～2時間

外部講師依頼可能



四季を通して森を歩いて自然を観察したり、森の環境を活かした遊びをつくりだしたりします。森への興味関心を高めながら、生物と季節の関係、森林環境と私たちの生活との関係などについて学びます。

＜関連教科例＞

- 理科3年「身の回りの生物」
→春の動植物と出会い、観察の仕方を学ぶ。植物や昆虫の体のつくりを調べる。
- 理科4年「季節と生物」
→四季を通して動植物を観察・記録する。
- 理科5年「植物の発芽・成長・結実」
→森林を歩いて植物を採取し、花や実を観察する。
- 理科6年「生物と環境」
→空気、水、食べ物を観点として、森林の環境と生物及び人間の生活との関わりについて調べる。

源流探険

上流に向かって沢を上りながら
 水と周囲の環境との関わりを調べる。



源流探険

【春～秋】

活動時間：2～3時間

外部講師依頼可能



渓流の水の冷たさ、そこにすむ生き物の観察などを通して、自然と直に接することの楽しさを味わい、森林と水、生き物、人との関わりや森林環境がなぜ大切かについての考えを深めます。源流探険には3つのコースがあり、活動のめあてに合わせて選択できます。

＜関連教科例＞

- 理科4年「天気の様子」
→地面からしみ出した水が源流に入っている様子を観察し、水の循環をとらえる。
- 理科5年「流れる水の働きと土地の変化」
→川の上流部の観察を行い、中流、下流の様子と比較する。流れの内側と外側を比較し、侵食の様子の違いを調べる。
- 理科6年「生物と環境」
→源流の水生生物を観察し、森林と川の生態系のつながりや、空気や水、生物が循環することで環境が保たれていることをとらえる。

里山体験活動

里山を生活に利用する活動を通して、
 里山環境を守る活動について考える。

※事前の打合せ、実地踏査が必要です。



草花遊び

活動時間：1～2時間

外部講師依頼可能

【春～秋】



身近な草花を使った遊びを通して、自分で遊びや道具をつくり出す楽しさや自然の家の植物の多様性、季節ごとの違いを感じ取ります。

＜関連教科例＞

- 生活科「身近な自然を利用した遊び」
- 理科3年「身の回りの生物」
- 理科4年「季節と生物」
→草花を使った遊びや遊びに使う物を工夫してつくる。

下草刈り体験

活動時間：1～2時間

外部講師依頼可能

【春～秋】



元気な森を復活させることを目指し、下草刈りを体験します。刈り取った下草は大事な資源として秘密基地づくりや野外炊事で利用します。

＜関連教科例＞

- 理科4年「季節と生物」
→植物は暖かい季節に背丈や葉が大きく成長することをとらえる。
- 社会5年「我が国の国土の自然環境」
→森林資源が果たす役割を考える。

森のクラフト

自然物を使い工夫して表現する活動を通して、
 森林の多様性を感じ取る。



葉っぱアート

活動時間：0.5～1時間

【春～秋】



気に入った葉や花、実などを集めて色紙の上に並べ、自分だけのアート作品をつくります。

＜関連教科例＞

- 生活科「身近な自然を利用した遊び」
- 理科3年「身の回りの生物」
- 理科4年「季節と生物」
→身近な草花を利用して、工夫して作品をつくる。

ネームタック

活動時間：0.5～1時間

【年間】



木の枝を使って、自分だけの名札（ネームタック）を作ります。みどりの学習で活動する時の名札として年間を通して使うことができます。

＜関連教科例＞

- 生活科「身近な自然を利用した遊び」
- 理科3年「身の回りの生物」
→樹木によって形や大きさ、においなどが違うことを感じ取る。

森の写真家

活動時間：0.5～1時間

【年間】



台紙を切り抜いたフレームに、お気に入りの森の風景を入れて撮影し、作品にします。

＜関連教科例＞

- 図画工作
- 生活科「身近な自然を利用した遊び」
- 理科3年「身の回りの生物」
- 理科4年「季節と生物」
→四季を通して森の風景の変化を撮影して記録する。

めだまっち

活動時間：1～2時間



【春～秋】

森林を歩きながら見つけた木や岩、草花などの自然物に、木の台座で作った目玉を付けて命を吹き込みます。

＜関連教科例＞

- 図画工作
- 生活科「身近な自然を利用した遊び」
- 理科3年「身の回りの生物」
- 理科4年「季節と生物」
→自然物の色、形、大きさの違いに着目し、作品をつくる。

ぼくは樹木博士

【春～秋】

活動時間：2～3時間

外部講師依頼可能



施設周辺には自然林と人工林が混在し、多種多様な樹木が観察できます。樹木の特徴や多様性について学び、樹木を知ることで森の散策の楽しさを実感できるようにします。

＜関連教科例＞

- 理科4年「季節と生物」
→季節を変えて同じ場所で樹木を調べる活動を行うことで、樹木の成長には暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることをとらえる。
- 理科6年「生物と環境」
→自然林と人工林の樹木を比較する活動から、樹木を中心とした生物同士の関わりについての考えを深める。また、樹木の特徴を調べる過程で、人が空気、水、生物などの環境と関わり、工夫しながら生活していることに気付く。